

まちの家計簿

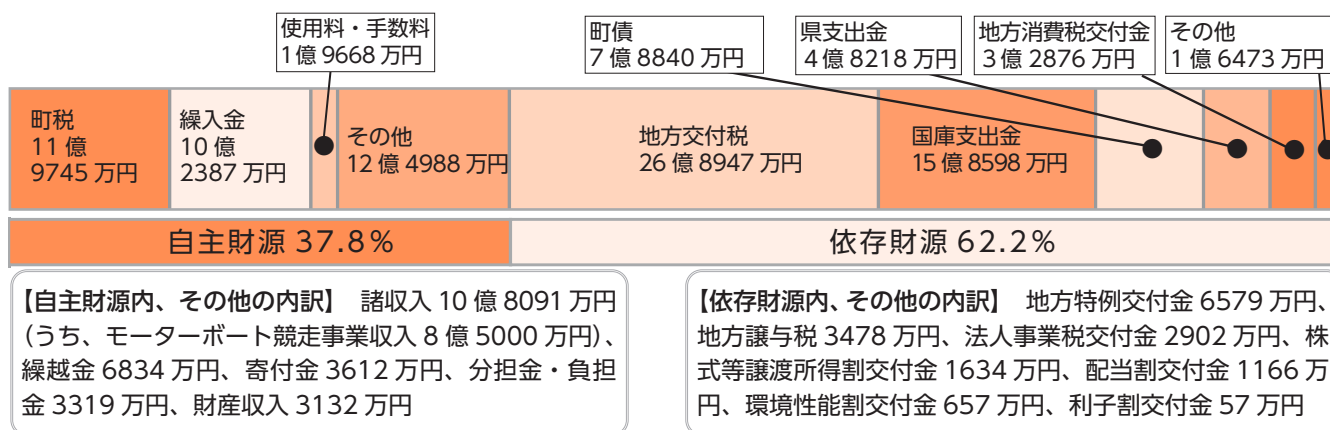
▶問い合わせ 財政係 (☎ 2 2 3 - 3 5 7 8)

令和6年度一般会計決算

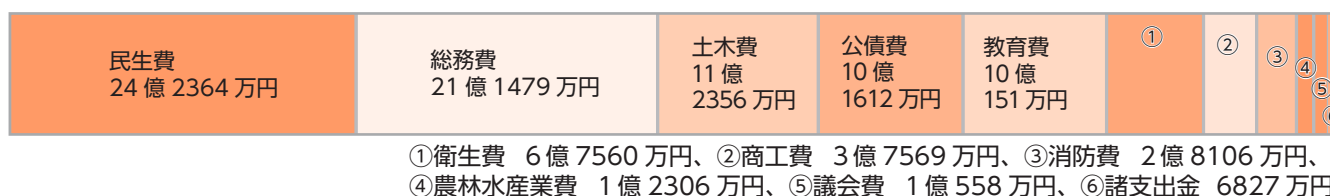
歳入 97 億 7 4 0 万円

歳出 93 億 8 8 8 万円

歳入



歳出



【令和6年度一般会計の歳入歳出決算の概要】

令和6年度の一般会計の決算額は歳入歳出ともに減少し、歳入総額は4億5359万円減少の97億740万円、歳出総額は4億3464万円減少の93億888万円になりました。

■歳入決算額の構成

歳入額を財源別にみると、町税や使用料・手数料などの自主財源が総額の37.8%、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が62.2%です。

■歳入の主な増減

芦屋釜の里収蔵展示施設改修事業費の減少などにより、町債が2億6050万円減少し、国税収入の増額などにより、地方交付税が1億2560万円増加し、繰入金が1億9574万円減少しました。

【用語の説明】

●自主財源

町が自主的に収入できる財源

●依存財源

国や県の基準により交付され、自主的に収入できない財源

●地方交付税

全ての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から配分されるお金

●町債

町が国や銀行から借り入れるお金

令和6年度の主な事業

第6次総合振興計画前期基本計画に基づき、
取り組んだ内容を紹介します。

1 住民とともに進めるまちづくり

- 自治区活性化事業交付金 700 万円
- ボランティア活動センター運営事業 599 万円



自治区活性化事業（中ノ浜区餅つき）

2 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 城山公園^{のりめん}法面整備事業 8481 万円
- 老朽危険家屋等解体補助金 1037 万円
- 防災倉庫整備事業 627 万円
- 消費者生活相談事業 399 万円
- 高齢者運転免許証返納者支援事業 46 万円
- 防犯カメラ設置補助金 31 万円



老朽危険家屋等解体補助金



消費者生活相談

3 子どもがのびのびと育つまちづくり

- 芦屋東小学校校舎大規模改修事業 1 億 4313 万円
- 子ども医療費助成金 5624 万円
- 小中学校情報機器（I C T）活用事業 4678 万円
- 学校給食費負担軽減事業 3326 万円
- 放課後塾等学力向上事業 3089 万円
- 小中学校・高校生等通学費補助金 814 万円
- 出産祝金 525 万円
- 新婚・子育て世帯
民間賃貸住宅家賃補助金 243 万円



I C T を使った授業風景



出産祝金

4 いきいきと暮らせる笑顔のまちづくり

●老人憩の家運営事業	2565 万円
●巡回バス運行事業	2091 万円



老人憩の家（鶴松荘）

5 活力ある産業を育むまちづくり

●レジャープールアクアシアン整備事業	5835 万円
●あしや砂像展実行委員会補助金	5549 万円
●芦屋港活性化推進事業	4908 万円
● ^{あわや} 栗屋地区農道側溝改良事業	2136 万円
●あしや花火大会実行委員会補助金	1850 万円
●特産品開発支援事業補助金	311 万円
●創業促進支援事業補助金	300 万円
●空き店舗等活用事業補助金	252 万円



巡回バス



あしや砂像展



あしや花火大会

6 環境にやさしく、快適なまちづくり

●緑ヶ丘団地改修事業	1 億 4904 万円
●タウンバス運行事業	9046 万円
●タウンバス購入事業	2688 万円
●定住促進奨励金	720 万円



タウンバス

7 心豊かな人が育つまちづくり

●芦屋釜の里運営事業	5362 万円
●図書館運営事業	2914 万円



芦屋釜の里

健全化判断比率

健全化判断比率

健全化判断比率のうち、1 つでも早期健全化基準以上になった場合は「財政健全化計画」を定める必要がありますが、いずれの比率も基準を下回っており、町の財政は健全な状態にあると言えます（比率がマイナスの場合は「－」で表示）。

	令和6年度	令和5年度	増 減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	－	－	15%	20%
連結実質赤字比率	－	－	－	20%	30%
実質公債費比率	8.3%	5.7%	2.6%	25%	35%
将来負担比率	－	－	－	350%	

基金（貯金）

基金残高は約 49 億円

町の貯金である基金は、財源不足への対応や特定の事業を実施するために積み立てているものです。

令和6年度は、前年度に引き続いて物価高騰に対応するため町独自事業を実施し、多額の財政調整基金を取り崩しましたが、今後も不測の事態に対応できる体制を整えるため、モーターボート競走事業会計からの繰入金を増額したことから、全体としてほぼ横ばいになりました。

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減
財政調整のための基金	15 億 5668 万円	14 億 9789 万円	5879 万円
その他特定目的基金	33 億 3606 万円	33 億 9632 万円	▲ 6026 万円
合計	48 億 9274 万円	48 億 9421 万円	▲ 147 万円

町債（借金）

町債残高は約 85 億円

実際の町の負担は約 20 億円

町債とは町の借金のことですが、一般的な借金とは違い「交付税措置（※1）」という助成ルールがあります。

令和6年度の町債残高を見ると、約68%は普通交付税で措置されており、一般財源（※2）で返済するのは約23%で、額にすると約20億円です。令和6年度は魚見公園整備事業や芦屋東小学校校舎大規模改修事業などのため町債を借りましたが、借入額以上に返済額が多かったため、残高が減少しました。

	令和6年度	令和5年度	対前年度増減
町債残高	84 億 7508 万円	86 億 8120 万円	▲ 2 億 612 万円
交付税措置額	57 億 3871 万円	59 億 3781 万円	▲ 1 億 9910 万円
その他	7 億 7764 万円	9 億 3540 万円	▲ 1 億 5776 万円
一般財源	19 億 5873 万円	18 億 799 万円	1 億 5074 万円

（※1）交付税措置とは、町債の返済額を国が普通交付税という形で助成するもので、措置される率は内容によっておおむね30～100%です。

（※2）一般財源とは、町税など町が自らの裁量で使用できる財源です。

